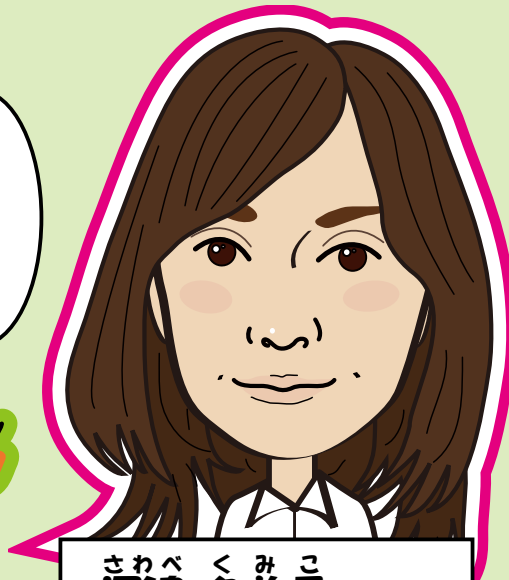


うみっこ通信

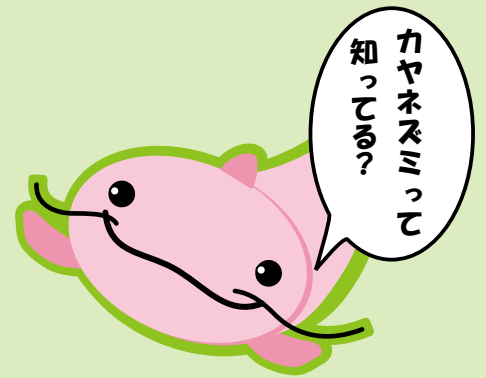


滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM



さわべ くみこ 学芸員
澤邊 久美子 学芸員



カヤネズミ

生き物たちがくらす 草むらの世界

バッタを捕ま^{つか}えたり、お花を摘^つんだり、「草むら」で遊んだことはありますか？ふだん、あまり注目されることがない草むらですが、一度、草むらの世界に入ってみると、そこにすむ不思議な生き物たちに出会うことができます。

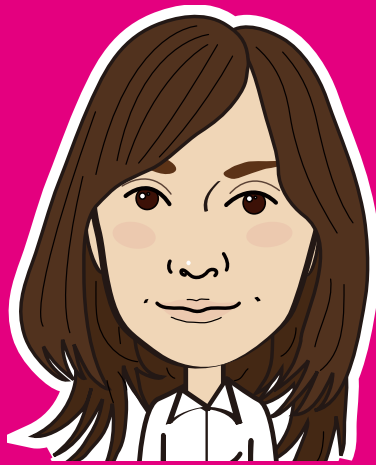
澤邊学芸員はそんな草むらにすむ日本最小のネズミ、カヤネズミという生き物と人の関わりについて調べています。ネズミにとって草刈りは大事件のように思えますが、草むらが^{やぶ}数にならないためには必要なことで、彼らはそれに対応できる力を持っています。ヨシ原の世界を紹介しているC展示室では、カヤネズミに会うことができます。

また、水族展示室リニューアルで琵琶湖博物館にやって来たバイカルアザラシについてご紹介します。

2017.3
No.17

目次

- 1 今回の特集
- 2 カヤネズミがすむ草むらってどんなところ？
- 3 カヤネズミの波乱万丈な1年？
- 4 うみっこトピックス「バイカルアザラシが琵琶湖博物館にやって来た！」



カヤネズミは草むらで暮らしているよ

【研究紹介】

カヤネズミがすむ草むらってどんなところ？



【写真1】カヤネズミの巣

カヤネズミって？

カヤネズミは日本にいるネズミの仲間 18 種類のうち最も小さく、体は約 7 cm、体重は約 10g。体より長いしっぽをお猿さんのように草に巻きつけて、葉っぱの上をスルスルと歩いて行きます。「イネ科」など縦に葉っぱが裂けやすい草を編み込んで、ソフトボールくらいの丸い巣を作って暮らしています。初夏から秋にかけて巣の中で子育てをします。



【写真2】カヤネズミがすむ草むら（河川敷）

草むらってどんなところ？

草むらには、河川敷や湿地などに自然にできたもの、人が草や木を切った結果知らないうちにできたもの、人が種をまいて作ったものの3種類があります。カヤネズミはどの草むらにもすんでいます。特にススキやオギという背が高く葉っぱが長い草が好きだそうです。巣を編む時に、編みやすいのかもしれない。



【写真3】カヤネズミがすむ草むら（カヤ場）

草むらってだいじなの？

草むらはあまり知られていませんが、実はすごく面白い世界です。特に、「人が草や木を切った結果、知らないうちにできた草むら」は、人も生き物にとっても偶然新しくできた場所です。例えば屋根の材料を集めるカヤ場や、田んぼのあぜもその一つです。そういった偶然できた草むらをカヤネズミはちゃんと見つけて暮らしているのです。

カヤネズミはたくさんいるの？

カヤネズミは昔から身近な草むらにすむ野生のネズミでした。ネズミはどんどん数が増えるんじゃないの？と思いますが、現在、すみかとなる草むらそのものの面積が減ったため、「滋賀県の大切にすべき野生生物のリスト」に希少種として指定されています。滋賀県では、琵琶湖や内湖のまわりに広がるヨシ原にカヤネズミはすんでいて、ヨシ刈りの時に巣が見つかることがあります。



【写真4】ヨシ刈りで見つかった巣

かわいいね



カヤネズミの

はらんぼんじょう 波乱万丈な1年

草むらのこと、
もっと知りたい!



【写真5】刈り残しをした草刈りの様子



【写真6】巣から出たカヤネズミ



【写真7】草むらに現れたウズグモの一種の巣



【写真8】全国カヤ・サミットでの観察会の様子

毎年やってくる草刈りは大事件!?

カヤ場や田んぼのあぜの草むらは、毎年数回、人が草刈りをする日があります。この日はカヤネズミにとって大変な1日です。巣の中で寝ていたら突然草が刈り倒されてしまうのです。でも、だいじょうぶ。カヤネズミは一旦、刈り残された草むらへ避難します。その後、草が伸びたらまた戻ってきて巣を作ります。しかし、避難する草むらが道路や建物で区切られてしまうと、逃げられなくなってしまいます。

子育て中、一家でお引っ越し

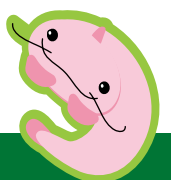
カヤネズミのあかちゃんは1回で5匹くらい生まれます。お母さんネズミは日中、別の巣で寝ていて、毎晩おっぱいをあげるために子どもたちの巣に通います。お母さんネズミは心配性で、近くにいいくつかの巣を作ります。ヘビが通った臭いなどを感じると、ライオンのお母さんのように子どもたちを1匹ずつくわえて、隣の巣へ引っ越しをします。実際は2m位の距離ですが、カヤネズミにとっては草の道を登って渡っての大移動です。

草むらにすむ不思議な生き物たち

カヤネズミは夜、ごはん探しに出かけます。草のタネや昆虫がカヤネズミのごはんです。カマキリは体の大きさが同じくらいなので手ごわい相手になるかもしれません。またカヤネズミにとって怖いのはヘビやフクロウですが、モズに捕まって枝などに突き刺されていることもあるそうです。動物以外にもへんてこなキノコが生えていたり渦巻のクモの巣が現れたり毎晩が大冒険です。

カヤネズミが安心して暮らせる草むらは?

草刈りをしなくなるとやぶになって草むら自体がなくなってしまうため、カヤネズミにとって草刈りは大切なことでもあります。少しずつ刈ったり刈り残したりすれば大丈夫なのです。博物館ではカヤネズミを通して草むらの大切さを知ってもらうために2016年12月に全国カヤ・サミットを開催しました。100名程の方々と草むらの生き物について語り合いました。今後も草むらのことを知ってもらい、みんなで考えてみるのが大切だと思います。



うみっこ トピックス

学芸員 松岡由子

バイカルアザラシが琵琶湖博物館にやって来た！



琵琶湖博物館のアザラシプール



バイカルアザラシ

世界中には19種類のアザラシがいます。有名なゴマフアザラシもその一つで、18種類は海で生活していますが、残る1種、バイカルアザラシだけは湖で生活しています。40万年前という遠い昔、海から河を上り湖で暮らし始めた祖先のアザラシが、バイカル湖で独自の進化をとげたと言われていいます。世界で最も古い湖であるバイカル湖の魅力伝えるために、バイカルアザラシをぜひとも皆さんに見てほしい！琵琶湖博物館の挑戦が始まりました。

バイカル湖はとても寒いロシアにあります。バイカル湖の生き物を飼育するために、水族展示室では水を冷やす機械を新しくしました。真夏でも水温7℃で魚を飼うことができるようになりました。魚よりも体の大きなアザラシは排泄物も多く、水をたくさん汚します。水をきれいにするろ過装置も新しくしました。バイカルアザラシが食べるエサは魚です。アザラシ達がおいしい魚を食べられるように、琵琶湖の漁師さんからウグイやハスなどたくさんの魚を仕入れました。



アザラシのエサ(上からハス・ウグイ・ウグイ幼魚・サンマ・シシャモ)



水中での様子

そしてやってきたアザラシ達。私たちが準備したプールを気に入ってくれたのでしょうか？昼間のはんびり水中を泳ぎ、夜は陸に上がって毛を乾かしてぐっすり眠ってくれています。となりの水槽には、野生のバイカルアザラシ達が食べているバイカル湖の魚たちも泳いでいます。ぜひ、一緒に観察してみてくださいね！